



## &lt;来週の資金需給予想とイベント予定&gt;

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主要要因	オペり日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
5/13 (月)	+ 1,600	▲ 15,200	▲ 13,600	国庫短期証券発行償還 (3M) 国債発行 (30年)	国債補完供給 + 34,400		
5/14 (火)	+ 1,000	+ 2,000	+ 3,000	源泉税揚げ			
5/15 (水)	+ 1,000	▲ 24,000	▲ 23,000	国債発行 (5年) 国債発行償還 (個人向け)	共通担保 ▲ 6,500		米：CPI (4月) 欧：ユーロ圏GDP (1Q)
5/16 (木)	+ 1,000	▲ 2,000	▲ 1,000				日：GDP (1-3月期速報) 米：鉱工業生産指数 (4月) 米：新規失業保険申請件数 (5月11日終了週)
5/17 (金)	+ 1,000	▲ 10,000	▲ 9,000	国債発行 (20年)			米：景気先行指数 (4月) 欧：ユーロ圏CPI (4月)

## &lt;インターバンク&gt;

日銀当座預金残高は週初、前営業日対比4兆2,800億円減少の554兆9,900億円から始まった。その後、国債発行や財政等の要因により、2日には、553兆4,300億円 (速報) まで減少し越週した。

無担保コールON物加重平均金利は週初、0.077%から始まった。その後もビットサイドの調達意欲は底堅く、同金利は横ばい圏で推移した。

ターム物は1W~3M物を中心に0.14%~0.25%のレンジで出合が見られた。

来週の予定は、国内では、16日にGDP (1-3月期速報) の公表、海外では15日にユーロ圏GDP (1Q)、16日に米鉱工業生産指数 (4月) の公表などがある。

## [無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	0.07 ~ 0.078
1M	0.07 ~ 0.20
2M	0.15 ~ 0.30
3M	0.15 ~ 0.30
6M	0.20 ~ 0.30

## &lt;レポ&gt;

足許GC取引は週央までは+0.06%~+0.085%のレンジで取引され、9日には+0.10%を上回る出合が見られた。短国の発行が重なった週末は+0.09%~+0.10%を中心に出合が見られたが、後場には+0.07%近辺まで低下した。

SC取引は2年438~460回債、5年149~167回債、10年350~374回債、20年180~187回債、30年65~82回債、40年13~16回債などに引合いが多く見られた。

## [オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	0.030 ~ 0.050
CP 3M	0.10 ~ 0.25

## &lt;CP&gt;

今週の入札発行総額は約4,500億円で、週間償還額の6,400億円を下回った。発行市場は電気機器、卸売業など一部で大型の発行案件が見られたものの、大型連休前に資金調達を終えた企業が多く、落ち着いたマーケットであった。入札案件の発行レートはa-1+相当の銘柄で期間1M~3M物の場合、0.10%前半~0.20%近辺での出合いだった。発行残高は先週末時点の23兆8,149億円から5月9日時点で23兆5,947億円に減少した。

来週の償還額は、約8,600億円となっている。発行市場は大きな増加・減少要因なく落ち着いたマーケットとなることが予想される。発行レートは、引続き0.10%前半からの出合いが予想される。14日はCP等買入オペが4,000億円から3,000億円に減額してオファーされる予定となっている。

## &lt;TDB&gt;

9日の6M (1229回債) の入札は、最高落札利回り0.0947% (前回債0.0438%)、平均落札利回り0.0789% (前回債0.0418%) となった。

10日の3M (1230回債) の入札は、最高落札利回り0.0535% (前回債0.0344%)、平均落札利回り0.0476% (前回債0.0259%) となった。

来週の入札は、16日に1Y、17日に3Mが予定されている。